14. 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器が設置されている住宅があります。

住宅用火災警報器が正常に作動するためには維持管理が重要となります。物をぶつけたり、分解したりしないでください。また、シールの貼り付けや塗装をしないでください。

◆住宅用火災警報器が汚れたら◆

台所などに取り付けた場合、油や煙などにより汚れが付着することがあります。家庭用中性洗剤を浸して十分絞った布で軽くふき取ってください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。また、故障の原因になりますので水洗いは絶対にしないでください。

◆定期的に作動確認が必要です◆

住宅用火災警報器本体から下がっている引きひもを引く、またはボタンを押すなどにより作動確認を行いましょう。長期間家を留守にしたときも作動確認をしましょう。また作動試験は 1 か月に一度を目安としてください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※作動試験をしても警報が鳴らない場合や突然に警報が鳴ってしまう場合には、管理サービス事務所または住まいセンター等へ連絡してください。

◆火災以外でも鳴ってしまう場合があります◆

火災以外でも、住宅用火災警報器は次のような場合に鳴ってしまうことがあります。その場合は、室内の換気をするか警報音を止めてください。警報停止ボタンを押すか引きひもを引くと警報音が一時的に停止します。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

- ●スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接かかったとき
- ●たばこの煙を警報器に吹きかけたとき
- ●調理の煙や湯気などが警報器にかかったとき
- ●燻煙式殺虫剤などの煙を発生させたとき
- ●煙感知部にホコリや虫が入ったとき

作動確認および警報音停止の操作方法の例